

# 栃木の子どもの生活の変化と 家庭における子どもの教育について

(平成20年度 生活状況調査 中間報告概要)

平成21年3月 栃木県総合教育センター

栃木県総合教育センターでは、本県児童生徒の生活習慣や行動傾向、保護者の児童生徒に対する働きかけや意識等を把握し、本県の子どもの日常生活に関する基礎資料を作成する目的で、5年ごとに「生活状況調査」を実施しています。

平成20年度「生活状況調査」、平成15年度「生活状況調査」の集計結果から、「子どもの生活の変化」と、「家庭における子どもの教育について」をまとめました。

「家庭における子どもの教育について」は、学校と家庭が連携して子どもたちの健やかな成長に役立てることができるよう、教員が校内研修や保護者面談等で使用することを想定して作成しました。

## 5年前と比較した、栃木の子どもの生活の変化

朝食を毎日食べる割合が増加している

小5・高2は、放課後自宅ですごす割合が減少している

小2・中2は、読書1か月「0冊」の割合が減少している

小5・中2は、平日の授業以外の学習時間が長くなっている

学習塾に通う割合が減少している

小5・中2・高2は、家族に注意される割合が減少している

## 家庭における子どもの教育について

### 1 時間を管理させ、生活のリズムを整えさせる

- (1) 子どもが、自ら規則正しい生活を送れるように働きかけていますか？
- (2) 携帯電話等の利用の仕方を把握して、時間の管理をさせていますか？
- (3) ゲームをする時間のルールを決めていますか？

### 2 子どもの内面を理解しようとする

- (1) 子どもの悩みを知っていますか？
- (2) 子どもの自尊感情を育てていますか？

### 3 子どもと向き合い、質の高いコミュニケーションを図る

- (1) 子どもをほめていますか？
- (2) 子どもの本当の気持ちを受け止めていますか？
- (3) 日常生活の中で、子どもとかかわる機会を見逃していませんか？
- (4) 子どもに決まりを意識させ、根気強くつけていますか？
- (5) 子どもとの向き合い方を考え、振り返っていますか？

### 4 子どもの学習を支援する

- (1) 学ぶ意欲を育てていますか？
- (2) 家庭学習について、具体的な働きかけをしていますか？

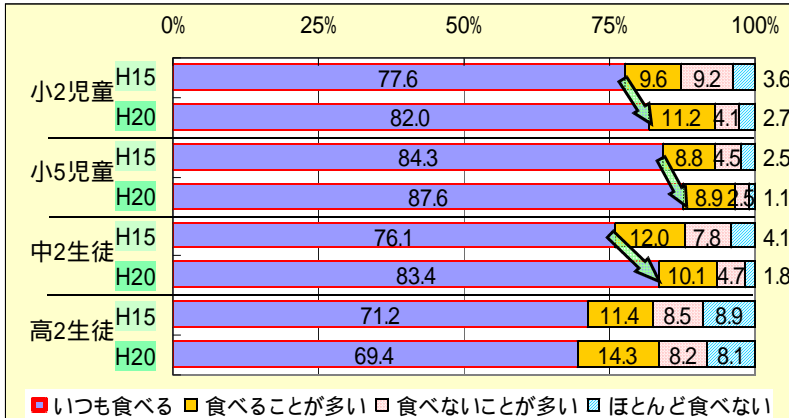
文章中の『 』は、回答の選択肢の肯定的回答あるいは否定的回答の複数の選択肢をあわせたものを示しています。特に説明のない場合は、平成20年度生活状況調査の質問およびデータです。  
H20年度生活状況調査は9月末に実施し、県内の小学校27校の小2・小5児童1655人とその保護者1613人、中学校23校の中2生徒664人とその保護者636人、高等学校20校の高2生徒768人とその保護者687人から有効な回答を得ました。

# 5年前と比較した栃木の子どもの生活の変化

平成20年度「生活状況調査」、平成15年度「生活状況調査」の単純集計結果を比較して、「子どもの生活の変化」の主なものをまとめました。

## 朝食を毎日食べる割合が増加している

Q あなたは、朝食を毎日食べますか、



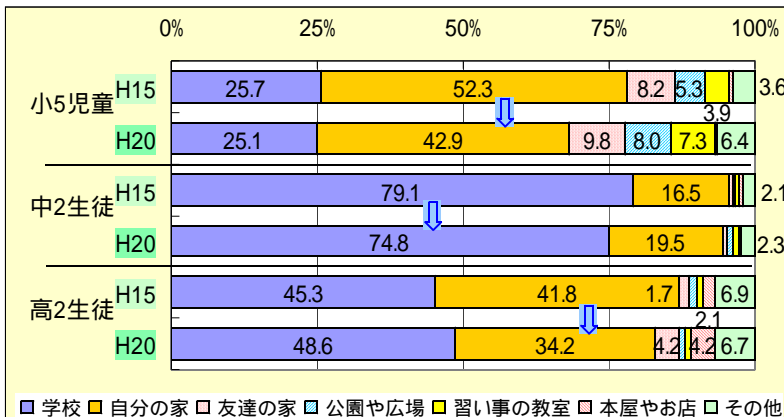
小2、小5、中2で「いつも食べる」と回答した割合が増加しています。

すべての学年で「食べる」と回答した割合が増加しています。

## 小5・高2は、放課後自宅ですごす割合が減少している

Q あなたは、学校がある日、授業が終わってから、どこですごすことが1番目に多いですか。(H15)

Q あなたは、学校がある日、授業が終わってから、どこですごすことが多いですか。(H20)

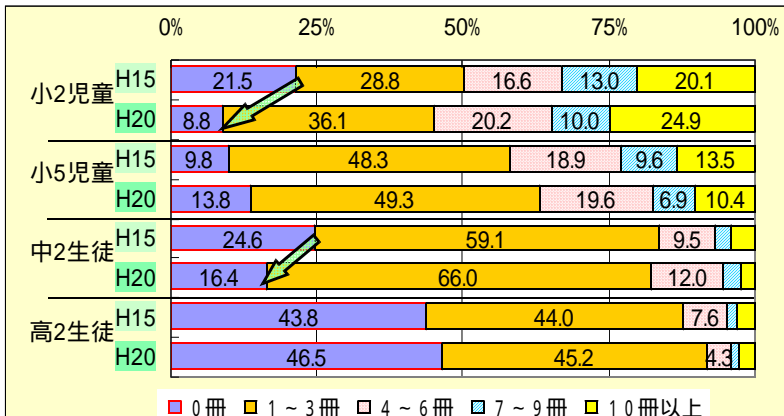


↓ 特に減少

中2は「学校」と回答した割合が減少し、「自分の家」と回答した割合が増加しています。

## 小2・中2は、読書1か月「0冊」の割合が減少している

Q あなたは、1か月にどれくらい本を読みますか。(まんがや雑誌は含めない)



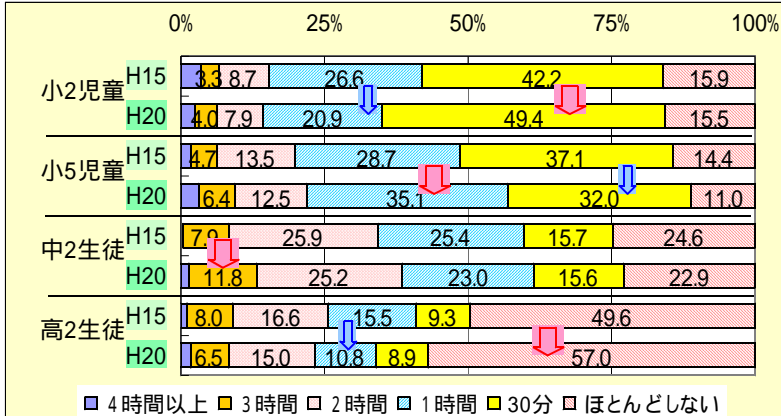
1か月の読書冊数の平均

	H15	H20
小2児童	4.7冊	5.3冊
小5児童	4.2	3.7
中2生徒	2.3	2.4
高2生徒	1.7	1.5

平均値については、「10冊以上」は11冊、他はそれぞれ選択肢の中央値(たとえば7~9冊ならば8冊)を児童生徒の読書の冊数として算出した。

## 小5・中2は、平日の授業以外の学習時間が長くなっている

Q あなたは、ふだんの日、学校が終わってからどのくらい勉強をしますか。(学習塾での勉強も含む)(H15)  
 Q あなたは、月曜日から木曜日、授業が終わってから、どれくらい勉強していますか。(学習塾での勉強も含む)(H20)



↑ 特に増加 ↓ 特に減少

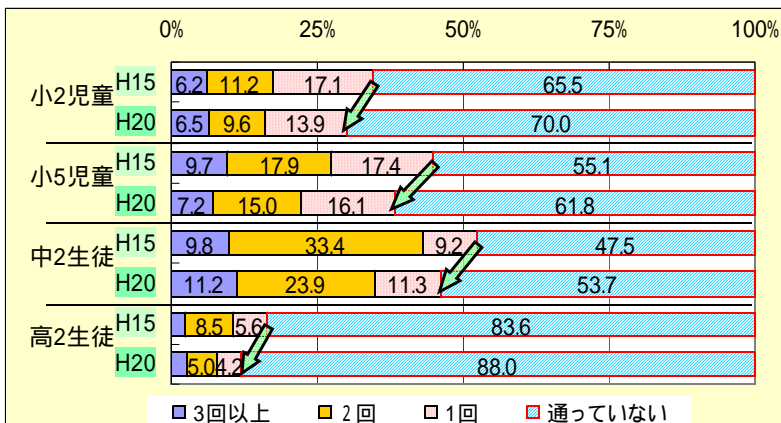
学習時間の平均

	H15	H20
小2児童	53分	50分
小5児童	57分	1時間04分
中2生徒	1時間06分	1時間14分
高2生徒	49分	43分

平均値は、「4時間以上」は4時間、「ほとんどしない」は0分として算出した。

## 学習塾に通う割合が減少している

Q 学習塾は週何回ですか。

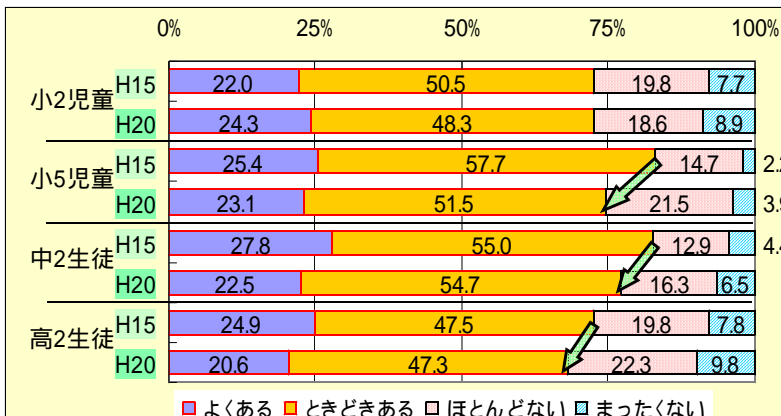


抽出したすべての学年で「通っていない」と回答した割合が増加しています。

Q「あなたは習い事に通っていますか」および Q「通っている習い事のうち、学習塾は週何回ですか」の2つの質問から算出した。

## 小5・中2・高2は、家族に注意される割合が減少している

Q あなたは、ふだんの生活の仕方や習慣について、家族から注意されたり、意見をされたりすることがありますか。



中2、高2で「よくある」と回答した割合が減少しています。  
 小5、中2、高2で「ある」と回答した割合が減少しています。

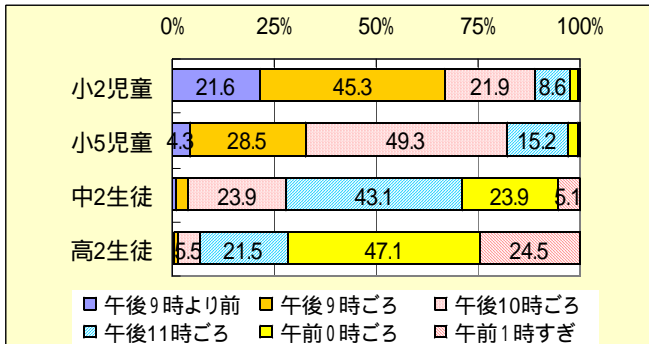
## 時間を管理させ、生活のリズムを整えさせる

平成20年度「生活状況調査」の集計結果から、家庭における子どもの教育についてまとめました。

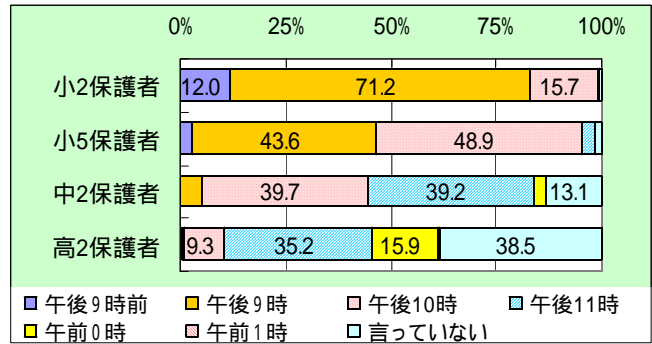
### (1) 子どもが、自ら規則正しい生活を送れるように働きかけていますか？

子どもの就寝時刻は、保護者が指導している時刻より、遅くなっています。

Q あなたは、何時ごろ寝ることが多いですか。



Q あなたのご家庭では、お子様に、何時ごろ寝るように言っていますか。



### (2) 携帯電話等の利用の仕方を把握して、時間の管理をさせていますか？

子どもは、情報機器を所持、使用することで、膨大な時間を費やしています。

一人、一日あたりの情報機器を使用、視聴する平均時間

	携帯電話(所持者)	PC(使用者)	TV、VTR、DVD(全員)
小5児童	26分	53分	2時間47分
中2生徒	1時間50分	1時間28分	2時間46分
高2生徒	2時間31分	1時間22分	2時間28分

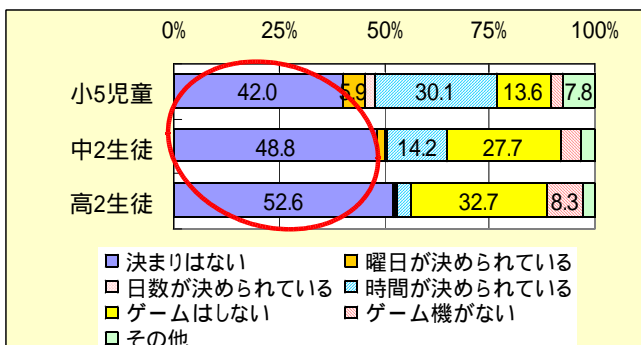
関係質問におけるそれぞれ選択肢の中央値(たとえば選択肢が「30分以上 1時間より少ない」ならば45分、「1時間以上 2時間より少ない」ならば1時間30分)および、「使っていない、まったく見ない」は0分、「4時間以上」は4時間30分を、使用時間として算出した。  
 ここでの所持者とは、「自分の携帯電話を持っている人」および「自分のものを持っていないが使っている人」をさす。  
 TV、VTR、DVDを見る時間には、テレビゲームをする時間を含めていない。

### (3) ゲームをする時間のルールを決めていますか？

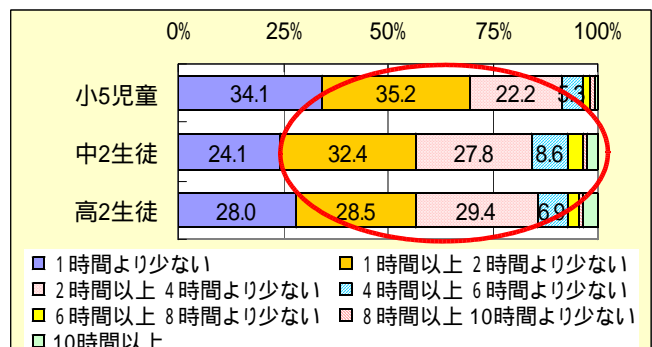
半数の子どもには、家庭でのゲーム機利用の決まりがありません。

ゲームをしている子どもの7割は、してよい日には、1時間以上ゲームをしています。

Q あなたの家では、テレビゲームの利用時間について、どんな決まりや約束がありますか。(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、インターネットのゲームを含む)



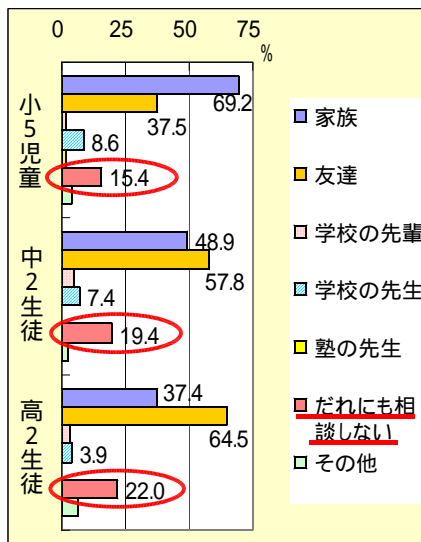
Q あなたは、してよい日には、どれくらいの時間テレビゲームをすることが多いですか。(ゲームをしている人のみ)(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、インターネットのゲームを含む)



## (1) 子どもの悩みを知っていますか？

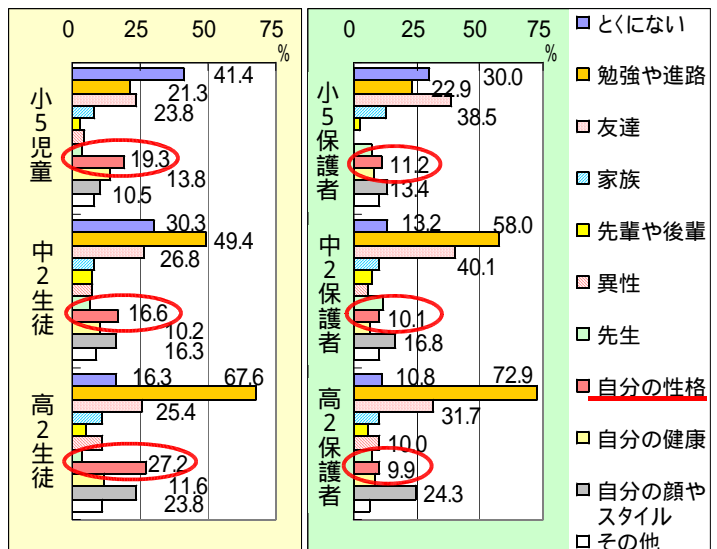
2割の子どもが、悩みを「だれにも相談しない」と答えています。  
 子どもは「自分の性格」のことも悩んでいます、保護者はあまり気づいていません。

Q あなたは今、困ったことや心配なことがあるとき、主にだれに相談しますか。(複数回答)



Q あなたの悩みや心配ごとは主にどんなことですか。(複数回答)

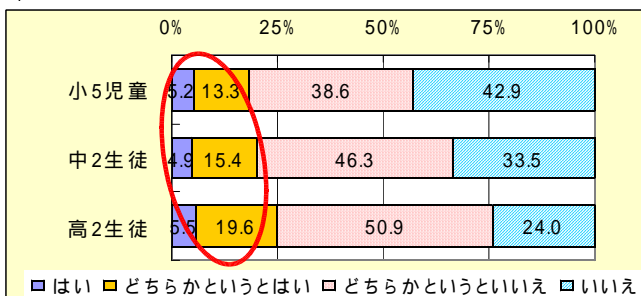
Q お子様の抱えている悩みは、主にどんなことだと思いますか。(複数回答)



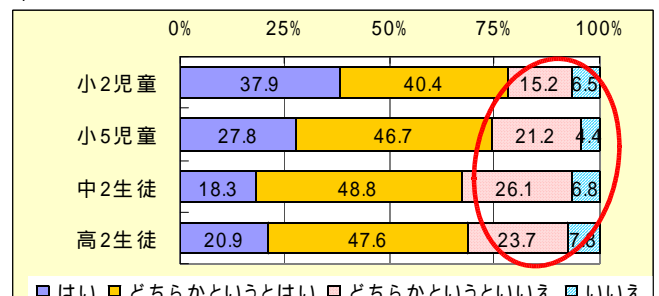
## (2) 子どもの自尊感情を育てていますか？

子どもの2割から3割は、『みんな私をきらっている』『自分によいところがない』と思っています。  
 子どもの2割から4割は、ほめてもらいたいことを、保護者に『ほめてもらっていない』と思っています。

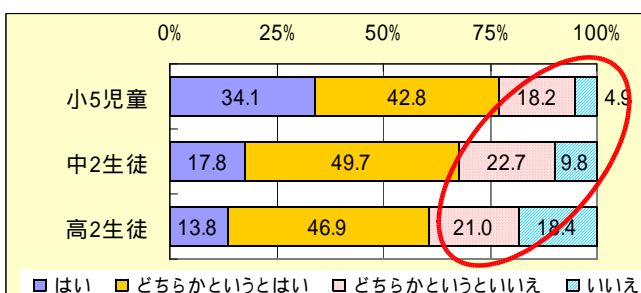
Q みんな私をきらっていると思う。



Q 私にはよいところがあると思う。



Q あなたがほめてもらいたいことを、保護者にほめてもらっていますか。



### 自尊感情とは...

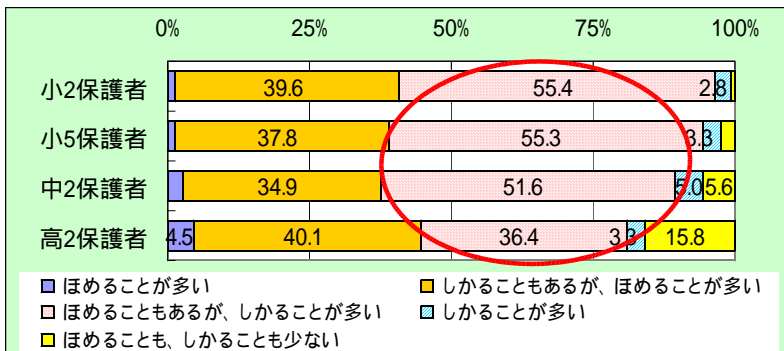
「自分をかけがえのない存在と考える感情」「自分を価値ある存在と肯定的にとらえる気持ち」(自己有用感、自己肯定感)で、主体性や自信をつけていくためには欠かせないものと考えられています。

# 子どもと向き合い、質の高いコミュニケーションを図る

## (1) 子どもをほめていますか？

小2・小5・中2の半数を超える保護者は、『しかることが多い』と答えています。

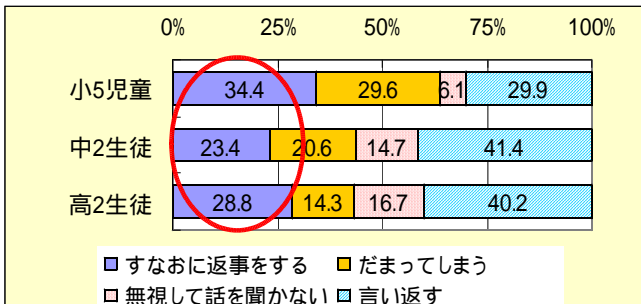
Q あなたのご家庭では、お子様に、どのように接していますか、



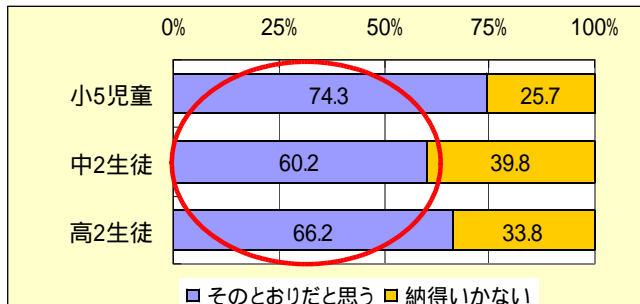
## (2) 子どもの本当の気持ちを受け止めていますか？

家族から注意や意見をされたときに、素直に返事をする子どもは2割から3割ですが、家族からの注意や意見を「その通りだ」と思っている子どもは6割から7割います。

Q あなたは、家族から注意されたり、意見をされたりしたとき、どのような態度をとることが多いですか、



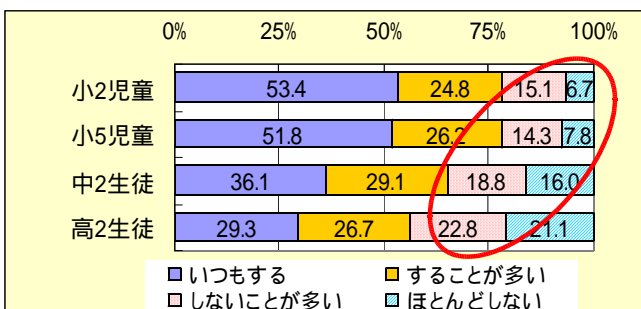
Q あなたは、家族から注意されたり、意見をされたりしたとき、どう感じることが多いですか、



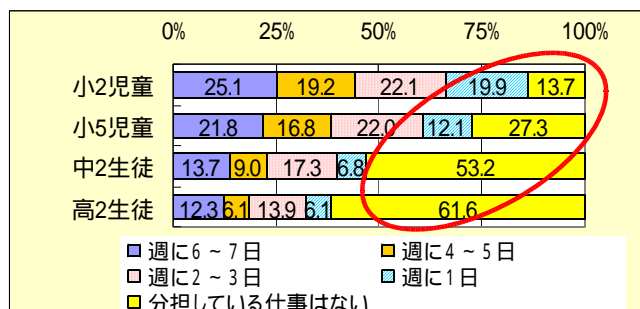
## (3) 日常生活の中で、子どもとかかわる機会を見逃していませんか？

小2・小5の2割、中2・高2の4割が、家族にあいさつを『しない』と答えています。小5の3割、中2の5割、高2の6割が、家で「分担している仕事はない」と答えています。

Q あなたは、家族に「おはよう」などのあいさつをしますか、



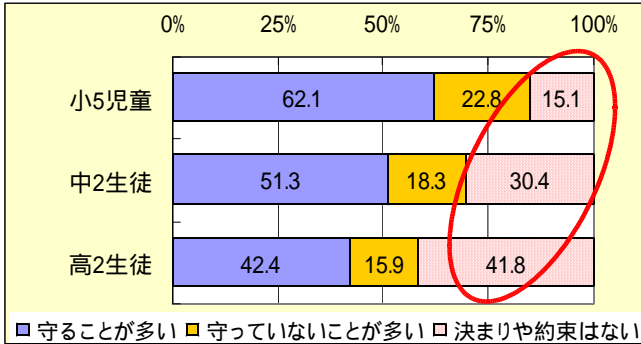
Q あなたは、分担している家の仕事を行う日はどれくらいありますか、



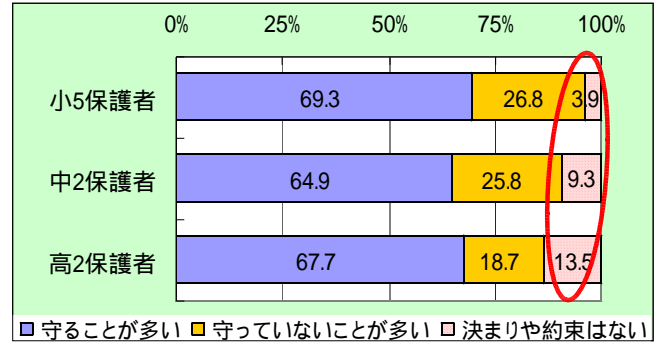
### (4) 子どもに決まりを意識させ、根気強くしつけていますか？

学年が上がるほど、家での「決まりや約束はない」と考えている割合が増加し、保護者との意識のずれが大きくなります。

Q あなたは、家での決まりや約束を守っていますか。

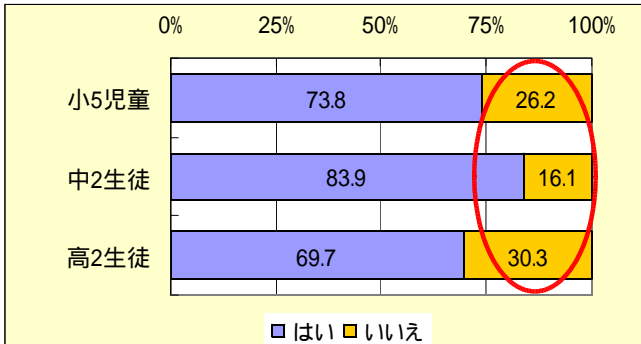


Q お子様は、家での決まりや約束を守っていますか。

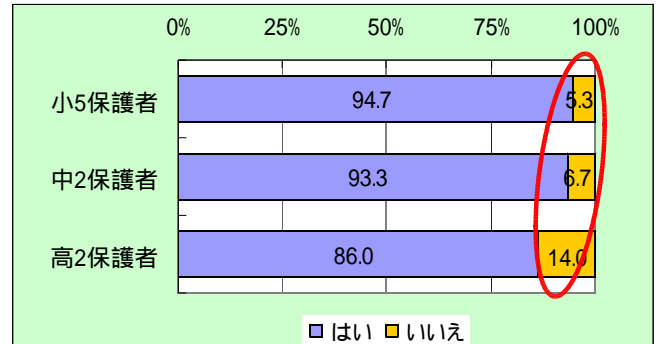


家での決まりを「守らないことが多い」と回答した子どもの2割から3割は、「守るように言われていない」と答えています。保護者は1割です。

上のグラフ中、家での決まりを守っていないことが多いと回答した児童生徒  
Q あなたは家の人に、家での決まりや約束を、守るように言われますか。



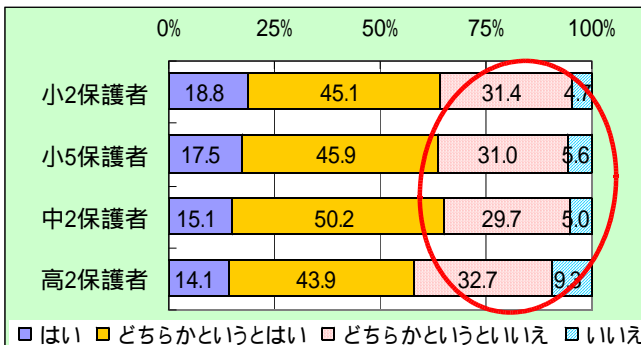
上のグラフ中、子どもが決まりを守っていないことが多いと回答した保護者  
Q ご家庭では、家での決まりや約束を、お子様を守るように言っていますか。



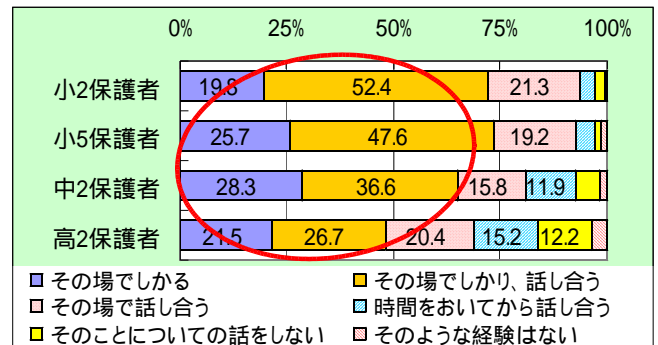
### (5) 子どもとの向き合い方を考え、振り返っていますか？

3割から4割の保護者は、子どもの教育について、話し合って方針を決めていません。「その場でしかる」「その場でしかり、話し合う」を合わせた割合は、学年が上がるほど減少しています。

Q 子どものしつけや教育について、話し合って方針を決めている。



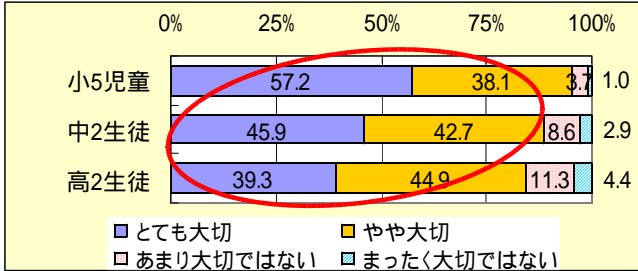
Q ご家族が注意したり、意見をしたりしたとき、お子様に不快そうな態度が見られた場合、あなたのご家庭ではどうすることが多いですか。



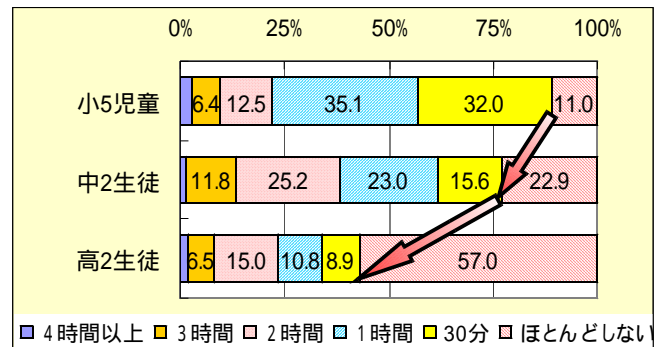
### (1) 学ぶ意欲を育てていますか？

子どもの多くが勉強は『大切だ』と思っていますが、意欲的に取り組んでいるのは半数です。学年が上がるほど、授業以外の勉強を「ほとんどしない」子どもの割合が大きくなります。

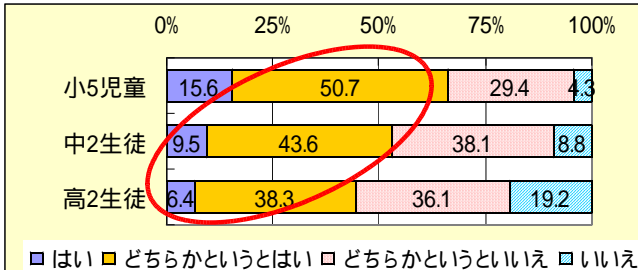
Q あなたは、勉強することは将来の生活のために大切だと思いますか。



Q あなたは、月曜日から木曜日、授業が終わってから、どれくらい勉強していますか。(学習塾での勉強も含む)



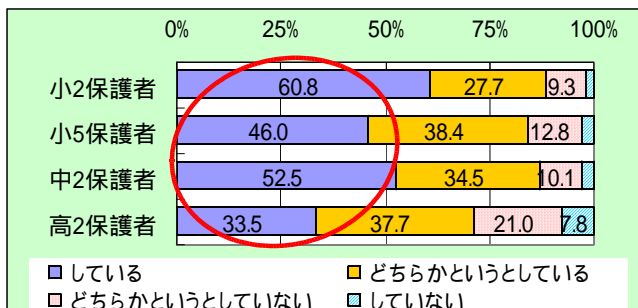
Q あなたは勉強に意欲的に取り組んでいますか。



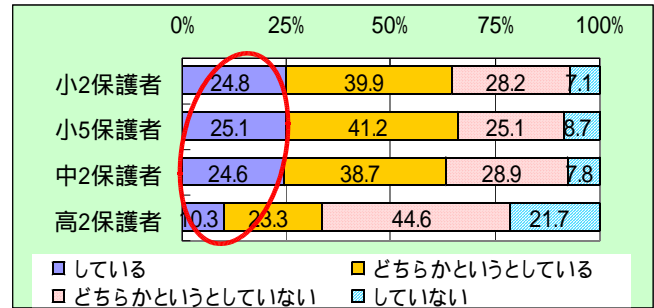
### (2) 家庭学習について、具体的な働きかけをしていますか？

多くの保護者は、テストの点数を確認していますが、「勉強しなさい」と声をかけたり、授業の内容を話題にしたりする保護者の割合は小さくなります。

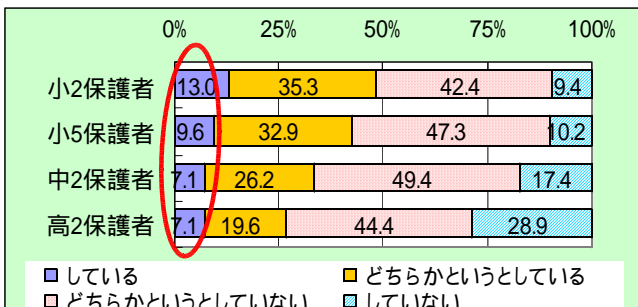
Q テストの点数を確認する。



Q 「勉強しなさい」と声をかける。



Q 授業の内容を話題にする。



このパンフレットや、生活状況調査に関する詳細なデータは、栃木県総合教育センターのホームページからダウンロードすることができます。

ぜひご活用ください。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>